



スポーツ少年秋田

AKITA JUNIOR SPORTSCLUBS ASSOCIATION

発行/秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916

令和元年度のスポーツ少年団の事業が、県内外及び海外(ドイツ)で各種開催された。競技大会や交流事業において、スポーツや研修、集団生活を通して交流を深めながら様々な体験を重ねた。

第56回秋田県スポーツ少年大会兼ジュニアリーダースクール

- 期日 7月26日(金)～28日(日)
- 会場 仙北市 田沢湖スポーツセンター
- 参加者 小学5年～中学生64名、リーダー12名
引率指導者10名(各市町村より)
- 概要 全県より集まった団員が野外活動やスポーツ、集団生活などを通して、交流を深めながら研修を行った。県リーダー会がプログラムを立案、運営し、リーダーとしての資質向上も図られた。

主な内容 ナイトハイク、駒ヶ岳登山、レクリエーション、歌・ダンス、講義(スポーツ少年団・リーダーについて)、小運動会、ニュースポーツ(ラート)、野外炊飯、キャンプファイヤー、まとめ(寄せ書き等)

参加者の感想

武石 彰太(小6) かみこあに(上小阿仁村)

1日目は歌、ダンスをがんばった。2日目の野外炊飯は、ご飯を炊くのを担当しハプニングがあったが、おいしくできた。みんなと過ごしたことをふり返るのは大事なことなので、3日目は「まとめ」が強く心に残っている。

阿部 董(小6) ジャングルKids(にかほ市)

分団の目当てを書いた旗をみんなで作って団結力が高まった。

登山は、やる前はとてもしやだったけど、どんどん登っていくうちに景色がとてもきれいになり「もっと登りたい!」と思った。大変だったけど楽しかった。他の市町村の子とも仲良くなれたのでよかった。

高橋 朱音(小6) ADOVANCE(横手市)

最初は分団の中で知っている人が2人しかいなくてとても不安だった。でも、レクリエーションやキャンプファイヤー、運動会など、ひとつひとつ活動をやるたびにみんなのきずなが深まり、うれしかった。

信太菜都姫(中2) SNOW(大館市)

分団長になって戸惑ったが、リーダーがリードしてくれてやりやすかった。私と年があまり離れていないリーダーがすごく頑張っていてかっこよかった。そして明るく話しやすく、一緒にいて楽しかった。

来年も絶対参加し、高校生になったらリーダーになりたいと思った。

参加団員のアンケートより(○の数字は順位) ●おもしろかった、ためになったプログラム 1日目①ナイトハイク、②歌・ダンス、③レクリエーションゲーム、2日目①野外炊飯、②ニュースポーツ(ラート)、③キャンプファイヤー・登山、3日目①運動会、②まとめ、③朝の集い ●勉強になったこと: 講義、協力することの大切さ ●交流が深められたこと: 各プログラム、部屋での自由交流 ●きつかったこと: 登山



第50回東北ブロックスポーツ少年大会

- 期 日 8月2日(金)～8月4日(日)
- 会 場 国立花山青少年自然の家(宮城県栗原市)
- 参加者 中高校生団員19名
福島1名、秋田1名、山形10名、宮城7名
- 団 員：小松原 光(大館市)
- 指導者：畑山 幸代
- 概 要 開催地栗駒市の豊かな自然を生かしたプログラム等を通じ、東北4県から参加した中高生団員が交流を深めた。宮城県スポーツ少年団リーダー会が運営の主体となり、工夫を凝らしたプログラムを展開した。

主なプログラム

- 1日目：開会式、アクティブ・チャイルド・プログラム、オリエンテーション、グループワーク(貿易ゲーム)
- 2日目：危険予知トレーニング、野外炊飯(サバイバル飯)、ウォークラリー、交流活動(班対抗スポーツ)
- 3日目：障がい者体験(ブラインド疑似体験)、さよなら交流、閉会式

参加者の感想

小松原 光 (SNOWスポ少 中2)

今回は秋田県から一人だけの参加で、緊張したが、たくさんの友達ができ、私はこの大会で、リーダーとして活動するために、どのような工夫がされているのかを探るために参加した。そして、この3日間で感じたことが二つある。

一つ目は、団員の成長を重視している活動だということ。たとえば、集合させる場面では、それによって団員に時間を意識させ、レクリエーションでは、頭を使うゲームをすることで、思考力とともに協力性が鍛えられていることに感心した。



県別記念撮影



各県代表が団員綱領読み上げ

二つ目は、来年の秋田での東北大会を成功させたいことだ。今回の経験を活かして、リーダーや班長として積極的に活動し、参加団員が、今年の私のように楽しさや協力する大切さを感じてくれるように、工夫を凝らした大会にしたいと思う。

畑山 幸代 (秋田県スポ少常任委員)

次年度、本大会が秋田県開催ということで視察を兼ねての参加となった。

「国立自然の家」の自然を生かしたプログラムや、東日本大震災の経験を生かした野外炊飯(サバイバル飯)、五輪開催前年にちなみ障がい者に理解を深めるプログラムなど、工夫を凝らした内容であった。

日本スポーツ少年団が推奨するアクティブ・チャイルド・プログラムや、チームワークを養う知的プログラム(貿易ゲーム)、危険予知トレーニングなど、実践を通して楽しく学べるプログラムも充実していた。

本県から参加の小松原さんは、班長を引き受けたり、宮城県リーダー会員に交じってレク指導を行ったり積極的に行動し、リーダーとしての経験値を上げていた。

参加団員が少ないことが残念であったが、次年度秋田県開催に向け非常に参考になった大会であった。



空き缶で炊飯



ウォークラリーの清流で



スポーツ活動のドッジビー



障がい者体験

東北ブロックスポーツ少年団交流大会(競技別)等

○サッカー

7月13日～15日 福島県 十六沼運動公園サッカー場
参加団 グロースフットボールクラブ少年団(男鹿市)
湯沢FCサンマリッツァスポーツ少年団(湯沢市)

○全国軟式野球東北Iグループ代表決定大会

7月6日 青森県 つがる克雪ドーム
参加団 旭栄野球スポーツ少年団(横手市)

第57回全国スポーツ少年大会

- 期 日 8月1日(木)～4日(日)
- 会 場 長崎県 長崎県立佐世保青少年の天地
- 参加者 全国より237名 秋田県より中学生5名
団 員：飯尾月葉、須田向日葵、齋藤和奏、
佐々木風音、佐藤佳望(にかほ市リーダー会)
- 指導者：三澤 渉(にかほ市)
- 概 要 「異国情緒の地で育もう友情の樹」を大会スローガンとし、世界遺産見学や平和学習、海洋体験などを通して、全国の仲間と交流を深めた。

主なプログラム

班交流活動、平和学習(平和公園・長崎原爆資料館)、世界遺産見学(大浦天主堂・グラバー園)、海洋体験(カヌー・バナナボート)、文化活動(三川内伝統産業会館)、キャンプファイヤー、

参加者の感想

『全国スポーツ少年大会で学んだこと』

飯尾月葉(中2)

私は全国スポーツ少年大会を通して、『平和』と『友情』を学びました。これから学んだことを生かして、世界、平和について理解を深め、リーダーとして活躍したいと思います。また築いた人とのつながりを大切に、より広く交友関係を結びたいです。

『長崎での思い出と学んだこと』

須田向日葵(中2)

私が長崎で特に思い出に残っていることは、海洋体験と最終日に行ったレクリエーションやダンスです。そして長崎の暑さや食べ物にも驚きました。この大会を通し、色々なことを学び、友達との交流がとくに大きかったです。この経験を今後の市や県のリーダー会に生かしたいと思います。



『いい経験ができた長崎大会』

佐々木 風 音(中1)

私は、初めて長崎に行き、秋田と街並みの作りが似ているなと思いました。天地の家での集団生活、海洋体験でのカヌー、バナナボートでの協力の大切さ、そして原爆資料館で原爆の恐ろしさを学ぶことができました。普段学ぶことができなかった体験を今後に生かしていきたいです。

『長崎大会に参加して』

佐藤 佳 望(中1)

初めは友達ができるか心配でしたが、班で話せるような人を見つけて思いきって話しかけてみたらすぐに仲良くなることができ、年上の人もいたので班の輪に入ることもできました。海洋体験では5人乗りカヌーでも船長役をし、平和学習でも今の自分がいかに平和な世界に生きているかと思いました。犠牲になった人、原爆のことを忘れずに過ごせばもっと平和になるのではないかと思いました。とても楽しく充実した三泊四日での思い出になりました。

『長崎の思い出』

齋藤 和 奏(中1)

私は初めて長崎に行きました。グループの人とも仲良くなれるか不安でしたが仲良くなることができ、嬉しかったです。カヌーやバナナボートの海洋体験も楽しく活動できました。皿作りでは良い皿を作ることができ、キャンプファイヤーでは歌ったり、踊ったり、ゲームもできて、とても楽しむことができました。また行きたいと思いました。

第46回日独スポーツ少年団同時交流 派遣事業

- 期 日 7月31日(水)～8月17日(土)
- 参加者 団員:小松原幸(大館市)、高橋夢永(横手市)
指導者:佐藤紀子(にかほ市)
(東北Iグループは他県団員3名、計6名)

高校最後の夏休み

小松原 幸 (SNOWスポ少 高3)

今回の日独同時交流で私は沢山のことを学び大きな夢を持つことが出来ました。

私にとって初めての海外が今回の研修でした。私がドイツに行くときの目標は「自分から積極的に話しかけて沢山のひとと仲良くなる」ということでした。私は人と話すことが大好きなのでとても楽しみで不安が全然ありませんでした。

ドイツについて初めて見る海外は日本と雰囲気が違い英語が得意でない私は「自分が伝えたいことをなかなか伝えられない」「ドイツ語だと理解できない」などの言葉の壁を実感し、通訳さんや日本団のひとと一緒にいないと不安だという気持ちになりました。不安がどんどん大きくなったまま、ホストファミリーと対面しました。初めて会った時、YESとNOばかりで全然会話になりませんでした。しかし、ホストファミリーはとても優しく単語の意味や読み方、お店の名前や会計の仕方など沢山のことを教えてくれました。一緒に過ごしていくたび少しずつドイツ語を理解し、英語やドイツ語で少し会話することができるようになりました。そして、自分の意見を伝えられるようになりました。

地方プログラムでは、ウルム地方の歴史について学ぶことができました。ウルムは誰もが知っているアインシュタインの生誕地だということを知りました。また今まで体験したことのない車椅子バスケットやホッケーをしました。プログラム内でドイツ側とインクルージョン*についてディスカッションしました。はっきりとした答えは出ませんでした。ドイツの人はみんなインクルージョン*について真剣に考えている人が多いと感じました。日本だとインクルージョン*という言葉を知らない人が多いとおもうので、日本もドイツのようにもっと障害のある人が過ごしやすい環境を作るべきだと思います。

私がドイツに来て驚いたことは、とにかく沢山ありました。高速道路を200キロで走るのが当たり前で、トイレやスーパーなどのカートを利用するのにお金がかかるということ、歩行者信号機は3秒ほどで変わってしまうこと、まだまだ買っていない商品でも買うものなら飲んでも良いということなど日本との違いが多く、文化の違いを実感しました。

ドイツでは毎日夜遅くまでサッカーやサイクリングをしました。また家に帰っても家族みんなでサッカーの試合を見たり地下室で映画を見たり毎日充実

してドイツにいるのがあったという間でした。

さよならパーティーでは、初めて会ったひととも仲良くなり、みんなとずっとドイツにいたいと思いました。お別れする時にホストファミリーから「あなたは私達家族の一員です、だからいつでも帰ってくることができます」と言われました。その時、最高のひと達に出会えたと思いました。私には大きな夢ができました。もっとドイツ語を学んでもう一度ドイツに行くことです。そのためにこれからもっと成長していきます。

日独スポーツ少年団同時交流 インクルージョンについて

高橋 夢永 (横手ハンドボールスポ少 高2)

私は、日独スポーツ少年団同時交流に参加して沢山の事を学びました。英語が苦手なドイツ語も話せず不安で心配でした。でも毎日ホームステイした家族の方と話して遊んでいくうちにお互い笑顔になり楽しい毎日になっていきました。アスレチックや洞窟探検、車椅子バスケットボール、プールなど運動をして体の動かし方、言語の壁を超えてコミュニケーションを取る事が出来ました。言語が上手く伝わらなくても、日本語を教えあったり、ドイツ語を教えてもらったりできる事を実感しました。1番おもしろかった事は、ドイツ語の「分かりません」が日本語の「いいボイスですね」に聞こえる事です。これがきっかけでドイツの方と会話が増えたという事もありました。とてもよい約2週間の生活が出来たと思います。他のチームの団員とも仲良くなれました。住んでいる所が遠くてもドイツの方でも日本の団員とはつながっているし、また会えると思っています。この思い出を経験に活かして頑張りたいです。



*スポーツにおけるインクルージョンとは～健康者、障がい者、人種、性別など、お互いを理解・協力し合って、分け隔てなく一緒に活動すること。

第42回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

夏季は3種目において、競技を通じて交流を深めた。(※成績は団体のみ掲載)



- サッカー 6月8日～9日(TDK総合スポーツセンター)
- 参加数 32団、576名
- 優勝 グロースフットボールクラブ



- バレーボール 8月3日～4日(県営トレーニングセンター)
- 参加数 49団、626名
- 優勝(各ブロックごと) A 大曲、B 仙北、C 港北、D 能代北、E 大館jvc、F きみまち、G 山瀬、H 小出院内、I きたうら、J 鶴舞、K 大雄、L 岩谷、M BONS、N 仁井田、O 美郷、P 大森



- 軟式野球 8月15日～18日(さきがけ八橋球場)
- 参加数 16団、340名
- 優勝 西馬音内野球クラブ




お弁当の配達承ります。
 会議、研修会、各種スポーツ等
 630円より様々な種類のお弁当をご用意しております。
 ※配達は10個からとさせていただきます。

歓迎会、送別会
 (ご予算に応じて承ります。)



青少年交流センター
 有限会社 県庁食堂

レストランユースパル
 秋田市寺内神屋敷3-1
 TEL. 018-880-2310
 FAX. 018-880-2319



目ざせ世界の頂点!

がんばる
ジュニア
 応援します



あらゆるニーズにお応えする
松原印刷社
 〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
 TEL 018-862-8760(代)
 FAX 018-863-0005
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>
 E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

私たちの団

各団の一行目は団名(市町村)、種目、団員数(学年)、活動場所、代表指導者

泉複合スポーツ少年団(秋田市) 複合 11名(小3~小6) 泉小体育館 吉田尚え
秋田市立泉小学校 6年 下村 梨心

泉複合スポーツ少年団は、3年生から6年生までの11人で活動しています。活動は週に1回、主にバレーボール、綱引き、ドッジボールを行っています。また、年1回、高原散策やシーカヤック体験などが行われ、自然に親しみながら、団員の仲を深めています。

私は、スポーツや野外活動など、様々な活動に取り組めるこの部活動が大好きです。指導者の方々や家族に感謝し、団員全員が協力することや、何事にもチャレンジする気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思えます。特に綱引きの大会では、みんなが声をかけ合い、良い姿勢を保ち、優勝できるようにがんばりたいです。



角館アススポーツ少年団(角館町) 野球 29名(小2~小6) 角館小学校グラウンド 村上貴義
角館小学校 6年 平澤 亮河

団活動で普段感じていることは、練習とかはすごく厳しいけど、試合で勝つとすごくうれしいし、やってよかったなあと思うところが外団活動で普段感じているところです。

特に楽しみにしている活動は、仙北市の六年生が集ってやる選抜です。他のチームから来る六年生とやるのがすごく楽しみです。たくさん友達もつく、で、試合でも、いい結果を残して、いい選抜活動にしたいです。



三種STC(三種町) ソフトテニス 21名(小2~小6) あめふらんど 檜森 淳知
三種町立湖北小学校 6年 北林和心

私たち三種STCは、現存21名で仲良く練習に望んでいます。今年に設立されたばかりのチームですが、高学年を中心に声をかけ合いながら活動しています。また、スポンサー結成後まもなく1人1人で目標を立てました。部員全員が日々その目標に向かって全力で練習に励んでいます。そして、部員同士、とても仲良く練習中もチームの一体感を感じています。まだまだ分からないことはたくさんありますが、「助け合いをモットーにがんばっていきたいです。忙しい中、分かりやすく丁寧に指導して下さるコーチや、いつもサポートしてくれる家族への感謝の気持ちを胸に、これからも練習をがんばります。



 最後まで、驚くほど軽く引ける

テープのり新基準 独自機構「エアータッチシステム」搭載

- エアータッチシステム
- 新開発 パワーネット テープ
- 静音設計
- エアーフットヘッド

 エアータッチシステム
テープのり ピットエア- 400円+消費税



オリジナルギフトや記念品に!
[テープのり] ピットエア-



別注・お名入れ対応も可能です。

お見積り・ご注文は、お近くの文具取扱い店様へお問合せをお願いいたします。

インクジェット印刷対応

小ロットに最適

株式会社トンボ鉛筆
<https://www.tombow.com>

夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

目標に向かって、ガンバレ野球少年!

八森スポーツ少年団

監督 櫻田 公男

八森ブルーウェーブは、小学3年生から6年生までの31名の団員で学童軟式野球を中心とした活動をしています。

八森小学校のほとんどの男子が入団するので、野球が堪らなく大好きという子どももいますが、中には運動が苦手な子、内気な子など様々です。野球は競技スポーツですので勝敗はつきものですが、低学年にはTボールなどを取り入れながら、野球を好きになってもらう事を心がけて指導をしています。

団員たちは全国大会出場するという、高い目標を掲げて練習に励んでいます。今年は全県大会準決勝で敗れてしまいましたが、6年生を中心に素晴らしいチームに成長してくれました。そして今は5年生以下の新チームが、「6年生のようになりたい」という思いを胸に、新人戦に向けて一生懸命練習をしています。

これからも地域に愛されるチームづくりに心がけ、未来ある野球少年を支えていきたいと思います。



「いいチーム」をめざして

森吉Jr.ミニバスケットボールスポーツ少年団

親の会 会長 九嶋 剛

当団は、米内沢小学校と前田小学校の合同チームで結成4年目を迎えました。4人の6年生を中心に、15人の団員で活動しています。

春、夏の地区大会は残念な結果に終わり、残すは秋の地区大会のみとなりました。6年生にとっては最後となる秋の地区大会に向けて、全員が同じ目標である『全県大会出場』をめざし、チームのテーマである『心をこめて』日々バスケットボールを楽しみながら、技術とチーム力向上に励んでいます。

私たち親の会も、子どもたちに気持ちよく練習してもらうために、練習中は常に励まし、時には発破をかけながら、悔いを残さないよう温かく見守っています。

私の理想は強いチームより「いいチーム」。勝ち負けが全てではないと思っていますので、ミニバスを通して心と身体を鍛え、仲間同士励まし合い、礼儀や作法を身に付け、当たり前のことを当たり前と思わず、常に周りに気を配ることができるチームになりたいと思っています。団員も保護者も、現チームでの残りの時間を成長しながら楽しく過ごしていきたいと思っています。



お客様の「困った」を全力で解決します!

INEX

-Since 1948-

株式会社

アイネックス

<http://www.inecx.co.jp>

パソコン専門店

COM

- 本社：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- 建装事業部：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- IT事業部：〒010-0041 秋田市広面字鍋沼37
- 能代営業所：〒016-0864 能代市字鳥小屋32-5
- 大仙営業所：〒014-0047 大仙市大曲須和町2-2-20

- Tel 018-887-5560 Fax 018-835-5666
- Tel 018-836-0330 Fax 018-835-5666
- Tel 018-831-3131 Fax 018-831-2211
- Tel 0185-55-3780 Fax 0185-55-3750
- Tel 0187-62-6630 Fax 0187-62-6610



平成 30 年度日本スポーツ少年団顕彰

日本スポーツ少年団より、功績のあった登録指導者、市町村スポーツ少年団に贈られる賞で、平成 30 年度は2団体と個人6名が受賞した。秋田県スポーツ少年団表彰とともに、2019 年度総会の席上で伝達された。



○市町村

潟上市スポーツ少年団、上小阿仁村スポーツ少年団

○指導者

高橋裕喜(秋田市)、旭 和宏(秋田市)、田中京子(大館市)、西村鉄治(大仙市)、淡路芳和(潟上市)

○退任感謝状

(故)齊藤真由美(にかほ市)

平成 30 年度秋田県スポーツ少年団表彰

○功労者

大滝 朗(由利本荘市)、田口 将(鹿角市)、伊藤 聡(仙北市)、岩田幸信(秋田市)、吉田尚之(秋田市)、佐藤孝志(秋田市)、野村佐月(能代市)、鎌田英夫(能代市)、宮腰公悦(能代市)、笹島昭治(大館市)、米澤秀則(大館市)、伊藤清幸(大仙市)、伊藤 強(潟上市)、渡会 満(潟上市)、畑山千代己(にかほ市)

○優秀指導者

境 文男(秋田市)、高森 均(秋田市)、工藤源聖(秋田市) 関 康範(能代市)、高橋健悦(湯沢市)、木村勝幸(大仙市) 佐藤正之(大潟村)

○優秀単位団

保戸野バトンスポーツ少年団(秋田市)
日新体操スポーツ少年団(秋田市)
向能代ファイターズスポーツ少年団(能代市)

オコジョジュニアレーシングスキースポーツ少年団(由利本荘市)
船一ラグビースポーツ少年団(男鹿市)
杉の子スポーツ少年団(大仙市)

○優秀母集団

常盤小学校スポーツ少年団
父母の会(能代市)

オコジョジュニアレーシング
スキースポーツ少年団
(由利本荘市)



令和元年・2年度県本部役員・事務局

(令和元年7月1日現在)

- ・本 部 長 福原幸成
- ・副 本 部 長 牧野三千雄、大滝 朗、村山一郎、佐々木もと子
- ・常 任 委 員 田口 将、大山重幸、伊藤 聡、今野健嗣、齋藤 徹、藤田 向、松岡伸幸、小笠原重夫、菊地 隆、鈴木信行、北嶋 力、小野正伸、佐藤政博、青崎雅子、小畑治隆、畑山幸代、吉野ショウ子、石川宏江
- ・常 任 顧 問 蒔苗昭三郎、小笠原直樹、吉井和人、湊 昭策、高橋周也
- ・顧 問 伏見晃一、一関俊和
- ・事 務 局 飯坂尚登、富樫恵子、二階堂直子

令和元年・2年度指導者協議会運営委員会

- ・運営委員長 小笠原重夫
- ・運営副委員長 畑山幸代、吉田尚之、高橋優功
- ・運 営 委 員 佐藤 亨、齋藤 悟、新堀賢一、館岡正雄、黒木重徳、杉山章一、松岡伸幸、田口 将、藤田 向、福原幸成、佐々木もと子、大滝 朗、牧野三千雄、村山一郎、吉野ショウ子、石川宏江

辻兵メディケアコンサルタント株式会社

- 医療／老人福祉施設の開設、運営に関するコンサルティング
- 医療機器、介護用品の販売業務
- 内装工事全般(特殊浴槽、介護用リフト、備品什器ほか)
- 空間コーディネート(家具、内装のご提案)
- 人工炭酸泉装置の設置／施工

代表取締役社長 熊谷 良至
〒010-0921
秋田市大町二丁目2番12号
【TEL】018-827-3051
【FAX】018-827-3061
【E-mail】medicare@tsujihyo.com

※「スポーツ少年秋田」は、ホームページ (<http://www.akitaiyko.or.jp>) でもご覧いただけます。